

島根 更生保護

NO.168

(平成23年1月1日発行)
島根県保護司会連合会

〈島根更生保護データ〉
 保護司総数 495人
 保護観察事件 175件
 生活環境調整事件 207件
 (22.12.1現在)



歓喜をあげる子供達 (松江地区 三木隆子保護司提供)



NPO法人「島根県就労支援事業者機構」の設立にあたって

NPO法人島根県就労支援事業者機構会長
若佐博之

明けましておめでとうございます。

島根県内の更生保護関係者および関係機関・団体の皆様におかれましては明るい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、私はこの度、NPO法人「島根県就労支援事業者機構」の会長に就任いたしました。このNPO法人は、一昨年10月の設立総会を経て、昨年1月に松江市の認証を受けました。設立の目的は、犯罪や非行をした人が社会に帰って来た時、その更生の決意を支え、立ち直れるよう援助し、健全な社会の一員となれるように手助けするものです。

もとより私どもは、犯罪や非行のない社会を強く望むものでありますが色々な事情により過ちを犯す

に至った人達に対して、出所後の再起のチャンスを与える環境を整えることが最重要の課題であると考えます。出所者等がまず第一に考えることは生活の安定です。そのためには安定した就労先を確保することが必要です。しかし、昨今の長引く不況の折、安定した職を得ることは至難と云わざるを得ません。

法務省の調査によりますと、2007年に保護観察を終えた仮出所者等の再犯率は、就労者が7.4%に対して、無職者のそれは34.2%と実に5倍近い高さを示しているとされ、社会復帰して職に就くことがいかに大切であるかがわかります。従って、事業者は、昨今のような厳しい経済環境下にあっても出所者等に就労の場を与えることが再犯防止上欠くべからざるものであると認識を深められ、企業のCSR活動(社会的責任)推進の一助とされるよう望むものです。

私どもNPO法人は、出所者を受け入れしていただける事業者拡大のために微力を注ぐ所存ですので何分のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。



新年を迎えて

松江保護観察所長
河内 昭

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族おそろいで、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。また、平素、更生保護に多大な御尽力と御支援を賜り、心から御礼申し上げます。

本年が皆様方にとって幸多い年でありますことお祈り申し上げますとともに、更生保護関係者の方々の変らぬお力添えをお願い申し上げます。



恭賀新年

島根県保護司会連合会
会長 坂本 圭 祥

新春を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げますとともに、更生保護関係者各位のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

安心・安全な地域社会の構築を目指し、地方公共団体を始めとする関係機関・団体と更に綿密な連携を取り、更生保護事業に努力する所存でございますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



ご挨拶

更生保護法人島根保護観察協会
理事長 溝口 善兵衛

謹んで新年のお慶びを申し上げます。当協会の事業運営には格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も更生保護事業の一層の充実・発展に取り組むとともに、明るい社会の実現に積極的に寄与して参りたいと考えております。

年頭に当たり、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

更生保護法人島根更生保護会
理事長 福田 和 夫

新年あけましておめでとうございます。

日頃は島根更生保護会の運営に、また24年度の全面改築のために、お力添え賜りおりますこと、心からお礼申し上げます。

改築に向けては、埋蔵文化財の試掘調査等諸々準備に取りかかっております。

本年も変らぬご指導ご支援の程をお願いいたします。

新年のご挨拶



謹賀新年

島根県更生保護女性連盟
会長 尾崎 修 子

あけましておめでとうございます。島根県更生保護女性連盟は、設立50周年を迎えます。「青少年に愛の一声」をスローガンに県下29地区それぞれの地域に即応した活動を展開し、一層更生保護に協力して参る所存でございます。引き続きよろしくお祈り申し上げます。



迎春

島根県BBS連盟
会長 本宮 和 也

BBS連盟は、若い力で少年たちとふれあい、その健やかな成長を支援すると共に、犯罪や非行のない明るい社会の実現を目指すボランティア団体です。更生保護のさらなる発展・充実のためこれからも変わりませずよろしくご指導・ご協力をお願いいたします。



謹賀新年

島根県協力事業主会
会長 坂根 勝

明けましておめでとうございます。

平成21年、県内各層の力強いご理解とご支援によりこの組織造りをいたしたところでございます。昨今の誠に厳しい経済環境ではありますが、関係機関と連携を密にし、所期の目的を達成できるよう邁進いたす所存でございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。



平成22年度 島根県更生保護事業関係者顕彰式典

平成22年11月10日(水)松江市総合福祉センターにおいて多数の更生保護関係者が参加し、本年度の顕彰式典が開催されました。当日は、山田憲児中国地方更生保護委員会委員長、古田浩松江地方・家庭裁判所長、井越登茂子松江地方検察庁検事正、穂葉寛佳島根県健康福祉部青少年家庭課長、吉村勝正松江刑務所長、仁ノ平肇松江少年鑑別所長、友繁俊和島根あさひ社会復帰促進センター更生企画官のご臨席を賜り、坂本圭祥島根県保護司会連合会長の式辞、河内昭松江保護観察所長の挨拶につづいて、永年更生保護事業に功績のあった87名の方に表彰状が、35団体・351名の方々に感謝状が贈呈されました。

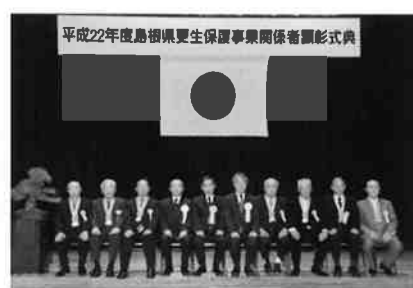
表彰が終わってから、受賞者を代表して長妻久良保護司(安来)から謝辞があり、来賓としてご臨場いただいた山田委員長、古田所長、井越検事正、穂葉課長(県知事祝辞代読)の祝辞をいただいた後、福田和夫島根更生保護会理事長の万歳三唱により式典を終了しました。



坂本会長挨拶



表彰状授与



受賞者(法務大臣表彰)

平成22年度 各種表彰受賞者(敬称略)

法務大臣表彰

安井昭雄(松江)
高橋信義(安来)
長妻久良(安来)
村社征利(安来)
徳江良弘(雲南)
松浦昇(雲南)
静間英明(邑智)

法務大臣感謝状

後藤繁雄(浜田)
蔵本知宏(益田)
高橋英康(隠岐)
中島和子(鹿島)
藤谷光恵(松江)
松原紀子(松江)
近藤佳郎(安来)
加本恂二(雲南)

勝部治良(出雲)
来海正和(出雲)
長田澤子(大田)
川角義信(邑智)
大源富夫(浜田)
波田英機(隠岐)
[内助功労者]
越野秋江(松江)
是津加代子(隠岐)

全国更生保護法人連盟理事長表彰
岩谷百合雄(協会)
川島昇(協会)
日本更生保護女性連盟会長表彰
青木薫代(松江)
角美登利(安来)
澄田千歳(大社)
齋藤彰子(江津)

新任保護司研修(後期)を開催

平成22年11月5日(金)、松江保護観察所において、平成21年12月1日及び同22年6月1日付けで保護司に委嘱された方々(20名出席)を対象に後期の新任保護司研修が開催されました。

午前の保護観察等の実践に関する講義に続いて、午後は社会復帰調整官の協力を得て「コミュニケーション技法」と題して具体的な面接方法等について研さんを深めました。

今後とも御活躍を御期待申し上げます。



受章者

更生保護功勞による
叙勲・褒章（敬称略）

瑞宝双光章 島田道州（浜田）
居山京子（雲南）
藍綬褒章 越野久茂（松江）



更生を助けることは至難の業である

島田道州

図らずも、平成22年「秋の叙勲」を受章させて頂きました。個人的にはご辞退すべくとも考えましたが、社会の多くの方々に、更生保護事業への認識を深めて頂く良い機会ともなればと思直して叙勲推薦予告に承諾させて頂いた次第です。私は保護司に委嘱された当初から保護観察処遇の研修会で、技術技法、法律等を聴講する度に深い疑問を持ちました。それは、実際に犯罪者を本当に更生を導く事が私に、保護司として出来るのか、名前だけの保護司で理論が先走っているのでは

ないかと思っておりました。何故なら、私個人、僧侶として弟子を育てて見て、一人の人間を更生へ導く事の困難な事を経験しているからでした。保護司に委嘱されて28年経ちました。今日も尚、その疑問、不安を持ち続けております。更生保護とは何かを改めて認識しなければと思っております。

「犯罪をした者や、非行のある少年たちの更生を保護し、援助し、促進すると共に犯罪予防活動する」事が任務とされていますが、実際に処遇対象者を担当してみても一人の更生への処遇はマニュアルどおりに行かない事と理想論では対象者は納得されません。対象者と一緒になって考え自立への手助けを実行する事、共に悲しみ、共に悩む人間的な保護司を願っています。



ご挨拶

居山京子

このたび平成22年秋の叙勲に際し、はからずも栄誉ある瑞宝双光章に浴しました。

何の功績もない私にとりまして、とまどいと面映いかぎりの授賞でございました。

去る11月8日法務省で伝達をうけ引き続き皇居に参内し豊明殿において、天皇陛下の拝謁と共にことばまで賜りました。

保護司に携わって参りました者として、何事にも変

えられない多大な感激であり感銘を受けました。このような身に余る栄誉をいただきました事はひとえに皆様方の永年にわたる温かい御厚情と御支援の賜と深く感謝し厚く御礼申し上げます。

私は昭和51年保護司の任務、仕事の内容等もよく分らないままお受けしました。

拝命いたしましてから33年間の歳月が流れ情勢も著しく変化してきましたが比較的平穏な山村でつとめさせていただきました。

今後はこの授賞を心に刻み私に出来る社会奉仕に努めたいと思いますので、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。



褒章受章の慶び

越野久茂

新年明けましておめでとうございます。昨年秋の褒章におきまして、図らずも藍綬褒章を拝受し、多くの方々から祝意とお祝を戴き、誠に有難く感謝とお礼を申し上げます。11月12日に夫婦で上京し法務省において褒章の伝達を受け、引き続き皇居に参内し豊明殿に於て天皇陛下に拝謁とお言葉を賜り感激の極みでございました。帰省してからも町内外から次々とお祝が届き、又、発起人による各種団体からの祝賀会等、これだけ多くの方々から祝福を受けたのは人生の中で初めての経験で

した。平凡で淡々と暮していた私が周囲の皆様方の暖かい情に触れ、受章の慶びと重さをつくづくと感じました。

これからも感謝の気持ちを忘れずに日々平穏に過したいと思えます。私は平成22年11月末日を以て保護司を退任いたしました。保護司の職務は大変な苦労もありますが、その反面、成し遂げた喜びと充実感も大きいものでした。受章の栄誉を重く受けとめ、一層の精進し、些かなりとも社会のお役に立ちたいと思っています。皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念し、私との関わりのあったの方々に対し、感謝とお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

愛の図書贈呈式

平成22年12月6日松江保護観察所において、島根県更生保護女性連盟による第50回「愛の図書贈呈式」行われました。尾崎修子連盟会長の挨拶の後、下記の各施設の代表の方へ「愛の募金」による「図書」が贈呈されました。今年は、贈呈式後、出席された各施設の方から図書の利用の仕方、他についてお話がありました。

松江刑務所、島根あさひ社会復帰促進センター、美保学園、松江少年鑑別所、島根更生保護会、県立わかたけ学園、県立女性相談センター、中央児童相談所、出雲児童相談所、浜田児童相談所、益田児童相談所



島根の競技かるた(百人一首)

益田地区保護司 兼子 哲彦

視点

焦点

島根県ではかなり以前より松江市、出雲市、益田市、津和野町、隠岐の島町でかるたが盛んでした。近年では雲南市のシニアが元気です。

昔は宮廷での遊びでしたが、約100年前に競技かるたが制定され、全国各地で大会が開催されるようになったものです。

●ねりんピックにかるたを最初に開催

平成16年、益田市にて未公認ながら参加者120人で手さぐりでの開催、以後福井、大阪、広島、福島、徳島と参加したものです。現在も東、西日本とで交互開催されています。

●隠岐にて奉納かるた

後鳥羽上皇が祭られている隠岐郡海士町の隠岐神社にて、歌碑建立祈念に平成12年元松川名人と山下準名人、引き続き平成16年には、かるた

100周年記念として、齋藤クイーンと元久保クイーン等招待して奉納をしました。

●益田高校かるたの成果

近江神宮での高校選手権団体の部、全国制覇が1回と準優勝2回、個人戦ではA級優勝が平成6年の尼子君と8年永田君、平成2年に準優勝したのが現在の福原慎太郎益田市長です。

●かるたの効用

出札を早くとる為に、姿勢・払いなど色々工夫し稽古を重ねます。詠まれた札と残っている札を順次整理しながら、約60分間のゲームです。記憶力や瞬発力・集中力そして体力も必要です。認知症の予防には最適かも！

何事も続けることが大切です……

前島根県かるた協会会長・かるた七段

豊かなコミュニケーションを！

安来地区保護司会 近藤佳郎

地区だより

鹿足地区更生保護女性会 会員研修会を終えて

鹿足地区更生保護女性会 村上幸子

合併した新生安来市がスタートして、早6年が経ちました。新市と保護司会の連携も順調に行われており、有難く感謝しています。

安来地区保護司会は33名ですが、近年世代交代があり、就任後5年以下のメンバーが16名となりました。これからのより良い保護司をめざして定例研修、自主研修に参加し、相互の啓発、研鑽に努めています。

最近、少年非行、犯罪が低年齢化の傾向にあり憂慮にたえません。その根源には様々な要因が考えられますが、家庭での団欒、対話の欠如、テレビ、ゲーム、携帯電話、インターネット等、氾濫するメディアに溺れていることが挙げられます。

当地区では、一昨年の社明大会から「メディア漬けから子供を守るには」「豊かなコミュニケーション」等をテーマに講演を続けています。

今年は、劇団あしぶえの園山土筆理事長の講演を聴きました。「今、すさまじい勢いでコミュニケーション力が低下しています。今の子供達は、サインを出すのが下手です。大人が、その弱いサインを見



社明大会講演 園山講師

逃さないことが大切です。」～演劇人の園山さんから沢山の示唆を頂いた講演でした。心の機微を聴きとれる保護司でありたいと念じています。

研修会を12月4日郡内を対象に220名余りの参加を得て開催した。来賓挨拶の後、松江保護観察所古川正昭課長より「更生保護女性会に期待するもの」と題して講話があり、続いての講演では「子どもたちの居場所づくりに関わって～元総長のふれ愛義塾」と題してNPO法人田川ふれ愛義塾理事長 工藤良先生から貴重なお話をいただきました。内容を概略申し上げますと、先生は小学2年の時両親が離婚。夜は母親が仕事で出かけ、弟と二人で暗闇におびえながら過ごした。小学5年でバイクを乗り回し中学2年で暴走族に。18才で暴走族の総長となり覚醒剤に手を染めた。先輩や後輩を悪の道に引き込み地元をボロボロにした。しかし強い自責の念から更生を決意し、失った信頼を回復することは容易ではなかった。真面目な姿で奉仕活動を始め、迷い苦しむ子どもたちの駆け込み寺「ふれ愛義塾」を設立し、学校や社会に復帰・自立を支援する活動にあたっておられます。非行には何らかの原因や背景があり、まず受け入れてやるのが第一といわれました。今日社会情勢の変化に非道な犯罪が低年齢化している現状の中、青少年を非行から守り「明るい社会づくり」を目指し、人間愛をもって活動して参りたいと改めて意を強くした研修会でした。



第60回社会を明るくする運動 作文コンテスト島根県最優秀作品

中学生
の部

私の目指すコミュニケーション

大田市立北三瓶中学校3年

須藤優花

私は、友達、先生、家族、地域の方など、沢山の信頼できる人に囲まれて生活している。今まではそれが特別なこととは意識せずにいた。しかし、私にとってはあたりまえであることが、誰にとってもあたりまえではないのかもしれないと思うようになった。

先日、秋葉原で起こった無差別殺傷事件の裁判の様子が報道された。この事件の加害者にはいろいろな背景があった。その中の一つであり、直接のきっかけとなったのが「ネット」だった。

はじめに書いたように、私には沢山の信頼できる人がいる。そして自分も他の人にとってそうでありたいと思っている。しかし、このような人間関係を築くのが苦手な人もいると思う。最近では、相談したいことがあっても実際の身の回りにいる人とのつながりが薄いために、ネットに書き込みをして、会ったこともない、ネット上の人たちに助けをもらおう、とする人も増えている。しかし助けを求めてネットに入ったのに、そこでも厳しい反応をされたり、自分の思うような答えが返ってこなかったりしたために、「誰も分かってくれない」と思う人もいる。こうした人たちが事件を起こしていることも事実であり、秋葉原の事件もその一つだったのだ。現実の世界でも、ネットの世界でも、自分の「逃げる場所」が無くなったことが原因で、この事件は起こったのではないかと私は思う。

この事件から私は、なぜ「逃げる場所」がなくなるのか、その理由を考えた。私なりに考えた結果、コミュニケーションがうまくとれず、人間関係がふくらまないと、そこに原因があるので

はないか、と思った。

ネットでのやり方をすべて否定するわけではないが、直接会って、相手の表情、仕草や身振りを感知取ることがコミュニケーションだと私は思う。ネットでのコミュニケーションは楽しいものだが、それはあくまでも、実際に自分が普段の生活の中で、直接人と関わっていることが大前提にある。ネットのやり取りは、コミュニケーションの一つの手段ではあっても、厚みのない薄っぺらなやり取りだと私は感じる。

このような人と人とのつながりやコミュニケーションについて、私が考えるようになったのは、私の学校で力を入れている、コミュニケーションの授業や道徳の授業があったからだと思う。

全校生徒で行う選択国語のコミュニケーションの授業では、普段何気なくしているあいさつや会話についても一度考え直し、見つめ直す。そのことにより、新しい気づきもたくさんある。たとえば、話をするときになぜ相手の目を見て話すのか。これも、授業の中で改めて分ったことの一つだ。

また、道徳の授業で読んだ「まるごと好きです」という工藤直子さんの文章も強く印象に残っている。人との出会いを「まずまるごと好きになる」ことから始めれば、相手の良いところが見えてくる。という工藤さんの言葉が、強く心に響いたのだ。相手の第一印象の良い方をつかむか、悪い方をつかむかで、その後の相手への見方やつきあい方にも大きく違いが出ると思う。どんな気持ちで相手に接しようとしているか、ということは必ず相手に伝わるのだ。

先日、進路について勉強しているときに、驚いたことが一つあった。高校を卒業し、社会に出て働き出した人の内、約3割もの人が対人関係を理由に、1年以内に仕事をやめてしまうというのだ。社会に出れば、気の合う人ばかりではないし、世代の違いもあるだろう。しかし、それを理由に仕事をやめるという形で終わってしまっただけで本当にいいのか。同じ事を繰り返すだけになるのではないだろうか。

今後、私にも新たな人間関係を築くときが何度も訪れるだろう。それは、自分にとって大切な人が増え、自分のプラスにするチャンスなのだ。

もしも、「自分の居場所が無い」と思っている人と関わったときには、私はその人の居場所になれたら、と思う。それが私にとっても、相手にとっても、誰かを信じるということにつながっているからだ。

誰のことも信頼し、誰からも信頼される人になること。そのためには十分なコミュニケーションが必要だと思う。まず相手をまるごと好きになり、そしてお互いに相手を分かり、自分を分かってもらおうとし合う、そんなコミュニケーションを私はこれからも、目指していきたい。

小学生の部

子どもでもおとなでも

益田市立吉田小学校6年

弘中優衣

みなさんは、自分の家の家族とけんかをしたことがありますか。

私は、夏休みのあいだたくさんお母さんとけんかをしました。そして、おこられました。でも、私が素直に「ごめんなさい」というと、笑ってゆるしてくれました。

私はこれが本当の「親子」で、ただあまやかすだけじゃない本当の「愛」だと感じました。

私は最近、ニュースや新聞で、お母さんの愛情をもらえず死んでいく悲しいことがあることを知りました。それは、お母さん、お父さんからのぎゃくたいです。

私は、ぎゃくたいをすることは、子どもがかわいそうだな。ぐらいにしか思ってませんでした。でも今は、この家族にはお父さんがいなくて大変だったのかな。などとぎゃくたいをしてしまった親のことまでかんがえられるようになりました。

そこで私は、そのお母さんへ、死んでしまった子どもさん、いまぎゃくたいをうけている子どもさんに手紙をかきたいと思います。

○してしまったお母さんへ

たいへんなことは、きつとたくさんあります。

でもそのこと一つ一つはそのお母さんがえらんだことだと思います。

子どもだっておとなだって同じです。だれか支えてもらえる人をさがして下さい。そしてしっかり子どもさんにあやまって下さい。

私たちは、みんなお母さんが大好きです。

○子どもさんへ

お母さんは、きつとだいすきだと思います。でも大好きだからこそそのなやみがあるんだと思います。私達は、同じ地球の同じ子どもです。なんでも話し合える環境になるといいです。お母さんが大好きなら、おかあさんのためにも、けいさつにそう談したらいいと思います。

私はぎゃくたいをうけたことが、ありません。

だからうけている人の気持ちは、わかりません。でも、分かり合えたら、なやみを相談し合えたら支えてあげることにはできると思います。

だから私は一日でもはやく、この世から、ぎゃくたいという言葉が消えて、みんなが、お母さんからの愛、お父さんからの愛を心の中に満タンであるような社会をつくっていきたくと思います。

第60回社会を明るくする運動 作文コンテスト入賞者

応募総数401点 (小学校265点・中学校136点)

【小学生の部】

- 最優秀賞 (島根県推進委員会委員長賞)
弘中 優衣 (益田市立吉田小学校6年)
「子どもでもおとなでも」
- 優秀賞 (島根県保護司会連合会長賞)
柴田 有希 (西ノ島町立浦郷小学校6年)
「きれいな町をいつまでも」
- 優秀賞 (更生保護法人島根保護観察協会理事長賞)
新宮 拓朗 (斐川町立出東小学校5年)
「ゆずり合いの心でやさしい町に」
- 優秀賞 (島根県更生保護女性連盟会長賞)
山根 奈々 (安来市立山佐小学校5年)
「見まもり隊」
曾田 花織 (浜田市立美川小学校5年)
「あいさつのまほう」
- 優秀賞 (島根県BBS連盟会長賞)
西田奈於斗 (隠岐の島町立都万小学校3年)
「お父さんと書きぞめ」
梶村奈観子 (隠岐の島町立都万小学校2年)
「わたしだけのだっこ」
- 優秀賞 (山陰中央新報社賞)
直井健史郎 (美郷町立邑智小学校6年)
「電車の中で」
青戸 楓 (松江市立玉湯小学校5年)
「笑顔いっぱい」を目指して」

【中学生の部】

- 最優秀賞 (島根県推進委員会委員長賞)
須藤 優花 (大田市立北三瓶中学校3年)
「私の目指すコミュニケーション」
- 優秀賞 (島根県保護司会連合会長賞)
三島優里耶 (美郷町立大和中学校3年)
「たった一つの命だから…」
- 優秀賞 (更生保護法人島根保護観察協会理事長賞)
小川 駿也 (江津市立青陵中学校3年)
「ありがとう」
- 優秀賞 (島根県更生保護女性連盟会長賞)
高野 唯 (出雲市立浜山中学校3年)
「あいさつを通して」
小松原莉子 (安来市立伯太中学校1年)
「あいさつ」
- 優秀賞 (島根県BBS連盟会長賞)
藤伊 夏未 (吉賀町立柿木中学校1年)
「自分を見つめて」
田上 藍 (知夫村立知夫中学校3年)
「何気ない思いやりの一言」
- 優秀賞 (山陰中央新報社賞)
杉原 慶彦 (島根大学教育学部附属中学校2年)
「雨の中で」
鬼村 匠 (出雲市立多伎中学校2年)
「公共施設の利用」

保護司の異動

【退任保護司】 9名 (平成22年11月30日付け)

藤谷 光 恵 (松江)	服部 逸 子 (邑智)
越野 久 茂 (八束)	高橋 宗 憲 (邑智)
秦野 千鶴子 (安来)	後藤 繁 雄 (浜田)
居山 京 子 (雲南)	村 穂 孝 彦 (益田)
古瀬 光 治 (出雲)	

【新任保護司】 13名 (平成22年12月1日付け)

仲田 彰 仁 (松江)	松村 千 弘 (雲南)
野津 泰 庸 (松江)	高尾 彬 (出雲)
三成 隆 久 (松江)	服部 幹 夫 (邑智)
倉本 洋 子 (安来)	三上 修 治 (邑智)
石飛 由美子 (雲南)	岡本 正 友 (浜田)
川本 晃 代 (雲南)	川 神 陽 子 (浜由)
陶山 隆 樹 (雲南)	

ご支援ありがとうございました

(島根保護観察協会) 敬称略
居山京子 30,000円

島根更生保護会チャリティーコンサートのご案内

- と き 平成23年3月6日(日)
午後2時30分 午後6時30分 (2回開催)
- と ころ 島根県民会館大ホール
- 招待歌手 山川 豊氏
田川 寿美氏 他
- 連絡先 チャリティーコンサート実行委員会
0852-25-4009

収益金全額を更生保護施設改築資金として寄託します。

敬 弔

下記の方がご逝去されました。ご功績を偲び
謹んで哀悼の意を表します。

- 元保護司 石原 一 男 (松江)
(平成22年7月19日死亡)
- 元保護司 黒 沢 和 夫 (松江)
(平成22年10月25日死亡)
- 元保護司 栗 原 満 男 (邑智)
(平成22年11月15日死亡)
- 元保護司 藤 原 貞 夫 (雲南)
(平成22年11月29日死亡)

(表紙写真説明) 歓喜をあげる子供達

島根県立美術館の庭に設置された一対のモニュメントは、いつも変わらぬ温もりで、人々を迎えてくれる。触れることの出来る芸術作品に畏敬の念を抱きつつも、親しみを感ずる瞬間である。